

あ と が き

57年度第3号の「核データニュース」をお送りします。年4回発行の予定なので1号欠けてしまったわけです。できるだけ欠けないように、遅れないようにと努力もし注意もしてきましたのですが大いに反省しております。

JENDL-2 がようやく公開の運びとなりました。できるだけ早くから利用していたべくことから、本号では収納核種名とMAT No.のみを示すだけのアナウンスになりました。次号ではもっと詳しく、できればこのような大型ライブラリーに馴染みない方でもお判りいただける形でご紹介できればよいと思っています。より広範囲の方々にもご利用いただけるような効果的な広告方法がないものかと思案しております。

何号か前の「あとがき」で、本誌の大きさをA4版にすることを提案したことがありますが、今号のようにA4版のタイプ原稿をそのままオフセット印刷する頁が多いと、やはり原稿を現寸のまま印刷するA4版の方がよいことを痛感します。今迄の原稿も殆んどがA4版でしたので、オフセット印刷の際には、わざわざ縮小すると云う不合理なことをやってきたわけです。では何故、現在のようなB5版が定着しているのかと云うことについては様々の意見があります。こゝでそれらをいちいち挙げるのは避けませんが、決定的な理由はないように思えます。何時でしたか、版を大きくすると「今迄の本棚と一緒に並べられないから困る」と言う意見がありました。ずいぶん勝手なご意見とは思いつつも、本棚に並べて保存して下さっているのかと思うとまた無下にもできない気持ちになりました。とは言うものの思い切って決断するだけのことのように思えます。それに当ってはもう1度、版を大きくして問題はないのかをよく考えようとしているところです。何かお気付きの点がありましたら是非お知らせいただきたいと思います。

(編集係 浅見 哲夫記)